

令和3年度事業所自己評価は昨年2年度に掲げた自己評価内容に対しての真摯な振り返りと課題の分析を行い、4年度課題の抽出により具体的な目標の設定並びに行動への方向付けを行うための自己評価シートとします。

事業所自己評価シート

令和 3 年度

職員による自己評価

保護者による評価

A環境・体制整備

- ① 安心・安全を優先課題としたバリアフリー等ハード面の整備・更新と環境の使い勝手を工夫したソフト面の検討、導入を図る。
- ② 支援の質を高める人材確保と計画的教育・研修等による人材育成を図る。

B業務改善等

- ① 保護者様との密度高い話し合いと情報共有を持つ機会を積極的に増やし、活用する。
- ② 業務の無駄排除見直しと改善アプリ等の検討

B 児童への支援内容

- ① 適切なアセスメント力の向上・強化。
- ② 保護者様とのニーズ・課題の分析と共有。
- ③ 関係機関、行政等との連携強化で支援力の向上を図る。接触の機会を増やす。

昨年度の実績を基に4年度は更に密度を上げる。

C関係機関や保護者様との連携

- ① 計画相談事業所、行政機関、他のデイサービス事業所との強い結びつき、連携を図る。
- ② 学校、療育センター、医療機関、発達支援センター等の専門機関との連携促進と強化を図る。
- ③ 地域ケアプラザ、地区社協、地域自治体等、地域との情報交換、連携機会を増やす。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ① 連絡ノート、ブログ、いっぱい通信、HP等での情報発信強化を更に推進、。
- ② 茶話会等を開催し、保護者同士の連携を支援。

E非常対応

- ① マニュアル整備：緊急時対応、防犯、感染症等対応マニュアル。
- ② 避難訓練：有事に活動できるレベルを習得。職員の有事対応力と実践力を訓練で習得。

A環境面

- ① 古い建物を考慮した安全確保とバリアフリー等安全対策の環境改善を図って欲しい。
- ② 飛び出し防止安全柵の新設、静養個室の増設、駐車場の整備等安全面での改善を評価する。

B児童への適切な支援の提供

- ① 屋外活動、体を動かす機会の継続強化を図る。
- ② 雨天時の室内活動等を活発に、固定化しない工夫とプログラムの開発を図って欲しい。
- ③ 子供の得意面や課題に気づき、サポートする日々支援に感謝。親子共に支えて頂いている。

C保護者への説明等、事業所からの情報発信等

- ① 連絡ノート、ブログ発信、いっぱい通信等での日々情報発信は評価する。更なる記事、情報の向上を期待する。
- ② 茶話会等、保護者同士の連携支援の場、卒業後の交流機会をぜひ再開実現して欲しい。

D非常対応等の対応

- ① 緊急時対応マニュアル、防犯・避難訓練マニュアル、感染症対応マニュアルを整備し、見られるようにして欲しい。
- ② 毎月実施している子供達の避難訓練は大変有効、今後も継続して欲しい。

E満足度

- ① 事業所の暖かい親身な支援にはとても満足している。子どもはいつも「いっぱい」の利用をとても楽しみにしています。



事業所内での分析

【共通点】

- ① 屋外活動に一定の評価と賛同。日常の生活リズム、体力健康増進に必要なとの共通認識があります。
- ② 子ども達一人一人の個性と能力に気づき、高める日々の支援力の向上を保護者は期待している。
- ③ 事業所の活動内容等の情報発信力を更に高めることへの期待が大きい。
- ④ 保護者様との交流機会の場の開設希望が高い。茶話会等の再開を具体的に検討し実現する。
- ⑤ 安心・安全を第一優先とした利用の環境整備、活動を着実に実施して欲しい。
- ⑥ コロナ禍の影響は今後も継続するとの環境を前提として活動を考え、実施することが肝要です。

【相違点】

- ① 感染症対応、災害時の緊急対応等安全面での期待感が高い反面、対応マニュアル等の整備、有事を想定した実践的訓練等の見直しが急務である。
- ② 保護者様への情報発信の強化、保護者様との交流・支援・連携の場作りを検討し具現化する。
- ③ 支援の質を高める人材確保と計画的教育・研修等による人材育成を長期的視野から継続して行う。
- ④ 業務見直しによる無駄排除と効率化の推進と、達成のための業務アプリ等の導入検討を図る。
- ⑤ 計画相談事業所、行政等との連携強化、学校、療育センター、発達支援センター等専門機関との連携機会の拡大を積極的に図る。



分析・検討してみて…

事業所の強み

- A 放課後等デイサービスの制度化以前よりの長い支援実績を持った職員が多く、子ども達の成長変化、対応等に優れている。
- B 小学低学年からの長い利用で保護者様との関係性が深められ、課題等の情報共有を高め、連携した深い支援が出来ている。
- C 経験豊かな児童指導員等職員を厚く配置しており、子ども達への支援の人員配置比率が高くきめ細かな支援サービスの提供が出来ている。
- D 長い運営実績の中で、関係機関との支援連携体制が出来ており質の高い広範な支援が可能である。
- E 長い経験の中から、送迎体制と送迎方法等のノウハウを培い、質の濃い送迎が出来ている。

事業所の改善点

- A 事業所施設が古く、安心・安全を優先した設備面を含めたハード的な環境整備、バリアフリー対策が必要。
- B 緊急対応等のマニュアル整備及び有事の際、確実に活動できる日頃の教育訓練の実施
- C 支援の質的向上強化のための継続した計画的な教育・研修機会の充実。
- D 専門知識、資格等を持った有資格者の効果的な活用と戦略的獲得。
- E 若手職員の計画的育成と採用。
- F 日報等記録業務の効率化と無駄の排除、及び記録業務を含めた事務効率化アプリの導入検討。
- G 情報発信力の強化を目論んだ情報ネットワークの検討と改善。
- H 保護者様との交流機会の場作り。

事業所の改善への取り組み

事業所の強みを最大限に生かしながら、事業所の改善点を中心に根気よく改善への取り組みを進めます。

A 安心・安全を常に意識して危険の先取りと予期を絶やさず、ハード的な環境整備とソフト的な改善を全職員で行います。

B 緊急時対応マニュアル類の整備を至急に取り組みます。併せて、有事の際、確実に活動できる避難訓練等の実施と習得を行います。利用児童の毎月の避難訓練は中身を再検討し、継続します。

C 長年培った支援実績を更に向上しながら利用児童、保護者様への支援力強化と保護者様との情報共有を図り日々の活動での支援連携に取り組みます。

D 支援の質的向上を図る人材育成と獲得並びに専門知識、資格を保有した人材の有効活用を計画的、戦略的に進めます。

E 記録等毎日の業務の見直し、無駄排除等の業務改善を進めます。又、改善、効率化のための業務アプリ等の導入検討を進めます。

F コロナ禍で中断している保護者様との交流会、茶話会等の再開に向けた具体的検討を進めます。令和4年度後半の再開を目指します。

G 保護者様、外部への情報発信力を強化します。「いっぱい」への理解者、ファンを増やすための情報提供、外部との連携活動を積極的に進めます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

長く停滞しているコロナ禍で支援活動の環境変化、地域内での同業放デイ事業所の急速な増加による競争の激化、発達障害の個別級利用児童の拡大による支援方法の変化等々、事業を取り巻く環境が激変しています。自己評価の再分析によりこれらの変化が一層明確になると共に、これらの変化に打ち勝ち、継続できる実力、老舗としてのプライドを改めて強く感じています。

事業所名 いっぱい 放課後等デイサービス
担当者 管理者 鈴木葉子、統括 竹下 惇